



2019年7月29日

報道発表資料

東京地下鉄株式会社
日本電信電話株式会社

**東京地下鉄株式会社と日本電信電話株式会社、
「東京の魅力・活力の共創」などに関する協業に合意**

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」と)と日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:澤田 純、以下「NTT」)は、下記3つのテーマに沿って協業を推進していくことで合意しました。

【協業テーマ】

- ① インフラの安全・安定性の向上
～状態基準保全(CBM: Condition Based Maintenance)～
- ② 移動の円滑性向上
～交通需要マネジメント(TDM: Travel Demand Management)～
- ③ 東京の魅力・活力の共創
～モビリティ連携～

東京メトロとNTTグループによる東京の魅力・活力の共創



1.背景

東京メトロは、中期経営計画「東京メトロプラン 2021」の一環として、鉄道インフラ保全業務における設備状態監視の充実など新技術の開発・導入や、来年夏の大規模スポーツイベント期間中の輸送対応、輸送サービスの改善、新たなモビリティサービスの実現に向けた取り組みなど「安心の提供」「持続的な成長の実現」「東京の魅力・活力の共創」に取り組んできております。

一方 NTT グループは、中期経営戦略「Your Value Partner 2025」で示すとおり、情報通信インフラ保全業務に対するデジタル技術の活用や、モバイルデータを活用した企業のデジタルマーケティングや地域の経済振興の支援、AI・IoT 技術を活かしたスマートモビリティの提供など、自らのデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組むと共に、パートナー企業の DX をサポートしています。

上記両社の取り組みをさらに加速するとともに、各社が保有するデータや技術の相互活用、新たなサービスの共同開発などを通じて東京の魅力・活力を高め、働きやすく、暮らしやすく、楽しんでいただける東京を共創することを目的に、協業することとしました。

2.協業の内容

両社が保有するアセットをかけ合わせ、下記①～③に取り組んでいきます。

■東京メトロ保有アセット ・鉄道インフラ保全技術、データ ・鉄道運行情報 ・改札口の入出場データ ・メトロネットワーク など	×	■NTT 保有アセット ・情報通信インフラ保全技術、データ ・モバイルデータ ・AI 技術「corevo®※1」 ・モビリティサービス ・5G など
--	----------	---

① インフラの安全・安定性の向上 ～状態基準保全 (CBM)～

- ・両社それぞれのフィールドで培われた設備保全のノウハウと独自開発技術を融合し、更に大きな価値を持った次世代保全技術の創出を模索
- ・同技術について PoC (Proof of Concept～実証実験) を協業により行い、実現性を検証

② 移動の円滑性向上 ～交通需要マネジメント(TDM)～

- ・駅や路線におけるお客様の移動動向の把握及び混雑予測の高精度化を検証
- ・大規模イベント時の円滑な輸送サービスの提供等、交通需要マネジメント (TDM) における活用領域拡大

③ 東京の魅力・活力の共創 ～モビリティ連携～

- ・東京都心を網羅した交通ネットワークを構築し、シームレスな移動体験を提供
- ・健康的な朝活通勤スタイルを提案し、沿線企業の健康経営等をサポート
- ・東京の魅力的なエリアを発信し、周遊促進をサポート

さらに今後、両社は上述の分野に加え、東京の魅力・活力の共創における各分野の連携を図り、東京の発展に貢献するとともに、日本国内や海外にも展開できるモデルづくりを目指します。

※1「corevo®」は日本電信電話株式会社の商標です。

(<http://www.ntt.co.jp/corevo/>)

